

令和2年度第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議報告書

1. 開催日時 令和2年9月24日(木) 午後2時から4時まで
2. 開催場所 市役所東庁舎1階 会議室101
3. 出席者 森谷委員、布施委員、近藤委員、鈴木委員、平野委員、小倉委員  
久米委員、福岡委員、鶴澤委員、石戸委員(代理:鈴木氏)、中野委員  
事務局 福祉部 豊田部長、  
高齢者福祉課 篠田課長、安岡、山本、加藤  
白井駅前地域包括支援センター 櫻田、西白井駅前地域包括支援センター 大澤
4. 傍聴者 0名
5. 次第
  - ・委嘱状交付式  
委嘱状の交付  
市長あいさつ
  - ・第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議  
委員自己紹介  
議題  
(1)会長の選出について  
(2)令和元年度在宅医療・介護連携事業および認知症総合支援事業の実績報告  
(3)令和元年度認知症初期集中支援チームの実績報告  
(4)令和2年度在宅医療・介護連携推進事業および認知症総合支援事業計画  
(5)在宅医療と介護の連携に関するアンケート調査報告
6. 議事 以下の概要のとおり

|     |                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>○ 委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠井市長より、各委員に委嘱状を交付</li> <li>・市長あいさつ 市長よりあいさつがなされる。</li> </ul>                           |
| 事務局 | <p>○ 第1回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議<br/>委員の自己紹介<br/>事務局職員の自己紹介</p> <p>それでは、議題に移る。<br/>本日の出席委員は、11名。本協議会設置要綱第6条第2項の規定により、過半数に達しているので、議事を進める。</p> |
| 事務局 | <p>議題1 会長の選出について協議をお願いする。<br/>なお、仮議長を福祉部長が務めさせていただく。</p>                                                                                      |
| 仮議長 | <p>会長については、要綱第5条により委員の互選により選出することとなっているが、推薦や意見があればお願いしたい。</p>                                                                                 |
| 委員  | <p>前任期で会長を務めていただいた森谷委員を推薦したい。</p>                                                                                                             |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 仮議長 | ただいま、森谷委員にお願いしたいとのがあったが、如何か。<br>(異議なし)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 仮議長 | 異議なしの声があったので、会長を森谷委員にお願いする。<br>会長より、あいさつがなされる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会 長 | 議題2 令和元年度在宅医療・介護連携事業および認知症総合支援事業の実績報告についてを議題とする。事務局より説明を求める。<br>(事務局より説明 資料1)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 会 長 | 多方面にわたる取り組みがなされていることが分かる<br>在宅医療後方支援体制制度について、実績は2名と少ないように見えるが、このシステムがあることにより、気持ち的にどれだけ助けられているか分からない。いざというときにお願いできるシステムがあることが気持ちの余裕を生んでおり在宅医療を続けていくモチベーションの源になっている。数字以上の良さを感じている。<br>また、救急医療情報キットについても、実際の救急搬送時に役に立った声も直接聞いている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 委員  | 他の委員に対して、実績報告を受けて意見・感想を求めたい。<br>昨年の会議において、インセンティブ評価指標が県内上位に入っていると報告受けたが、この実績報告を受けると理解できる。<br>私自身もしろい在宅医療フォーラムに出席したが、盛況だった。市民啓発として有効に働いていると評価している。<br>在宅医療後方支援体制について、実績は9か月間で2名の利用と必ずしも多くないため、受け入れ病院としてももう少し上手く対応できたらと思っている。登録患者の中には、市内病院で対応できず市外病院へ搬送された方もいたようだが、3次救急対象の状態の場合はやむを得ない。しかし、2次救急対象の状態にも関わらず受け入れできていないとしたら、連携の問題がある。どこの病院も常勤の医師ばかりではないのでうまく伝わらないケースもときたまあるにしても、当直室に登録患者を受け付けるように張り紙をするなど非常勤医師も対応できるよう周知を徹底していく。また、市外の在宅医療機関への対応をどうするのか、白井市民は市外の在宅医療機関の利用も多い特長もあるため、周知等を検討していく必要がある。<br>ICT に関して他職種からの要望は多い。情報共有の点で役立つ点が多いと認識しているため、今後も検討が必要だろう。 |
| 委員  | 協議会が立ち上がった最初の頃からすると、多くのことが着実に形になって充実した取り組みが行えている。中でも、市民からの反響が大きい終活支援講座については、再開できる時期が来たら感染予防対策を整えながら持続可能な形で続けてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員  | 今期から委員として参加することになったが、市が多くの企画をしていることを評価する。病院のリハ職として、多職種連携研修会に参加したことがある。他の職種の考え方が明確に分かり、個人的にとっても勉強になった。<br>このような会議を他の方にも知っていただくと取り組みとしてもっと素晴らし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>委員</p>   | <p>いものになると感じた。興味を持ってくれる方が増えるといいと感じている。</p> <p>報告資料を読んで、多くのワーキンググループの取組みや認知症の家族支援の場があり、多くの方に参加していただいていることを改めて感じた。私も入退院時連携のワーキンググループに参加し、入退院時連携ルールブックの作製に携わった。市内のケアマネジャーに配布され、業務で活用されている。</p> <p>今年度はコロナの影響で認知症の家族支援の場が休止されているが、以前、この集まりに協力した際、認知症の方を支える家族を支えていかないと在宅での介護生活が成り立っていかないと感じた。家族の本当の想いを聞き出して、うまく支援に繋げていくことができなかつたとしても、まずは話をじっくりと聞くという場が必要だが、今はそれが開けていない。何かの方法で是非開催をお願いしたいと思っている。</p>                                                                                |
| <p>委員代理</p> | <p>大変素晴らしい取組みだと感じました。救急隊の活動と関連する救急医療情報キットの取組みを2年前に全国救急シンポジウムで発表させてもらった。救急医療情報キットの活用により、救急隊の現場の滞在時間は若干短縮されている統計結果が出ている。また病院に着いてから医師に引き継ぎする時間が如実に短縮図れているという報告も救急隊員から受けている。今後もキットの普及に協力していきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>委員</p>   | <p>1年前に着任したため、協議会には途中からの参加となるが、様々な課題・提案が会議の場で終わることなく、次のステップに動いて効果を出しているところを評価している。多職種連携の研修会を行ったり、市民に向けてわかりやすく演劇で伝えたり、終活セミナーを開催したり、自分も興味があり参加してみたいものもある。</p> <p>警察の取組みとしては、認知症徘徊保護高齢者もしくは認知症が疑われる方を保護した際、積極的に本人やご家族に働きかけて市への情報の提供を行なっている。警察は保護という形を取らせていただくが、認知症の方本人も居なくなるとして居なくなっているわけではない。中には、不運にも怪我をされたり亡くなってしまったりする方もたくさん見てきている。同じことを繰り返して結果的に最悪の事態になることは避けたい。警察署の会議でも、市町村への情報提供に関して、保護して警察署の対応が終わるわけではなく、関係する方々に広く周知し、本人が辛い思いをすることがないよう意味のある活動として広げていくよう話し合われたところである。</p> |
| <p>委員</p>   | <p>今回から初めて参加するが、これだけの事業をされていたことに驚いた。前任者が市民啓発ワーキングに参加しており、フォーラムでの寸劇が市民からとても高評価を頂いたと聞いている。2年前に白井市ヘルパー連絡協議会を発足させていて、在宅医療フォーラムでは相談ブースを設けて来場者から相談を受けた。</p> <p>現場が忙しいのでなかなか多職種連携の集まりには参加できていないが、在宅介護の現場にずっと従事していて、年々連携が図られてきて仕事がやりやすくなってきていると感じている。その背景には連携に向けた色々な取組みがあったことと感じている。また、本人や家族の意見が届き相談できる場や、現場のヘル</p>                                                                                                                                                                   |

パーとしてどうしていいかわからない時も相談できる場などが、もっと知れたらいいと思う。現場の人間は知らないことだらけなので、自分が今回協議会に参加することによってヘルパー連絡協議会にも報告して、認知症対策ワーキングや介護教室などの取り組みを伝えていきたい。

委員

実績報告を聞き、徐々に成果を挙げているように感じています。また次のステップへの足掛かりも示されていると感じている。

今、在宅で介護を受けている方を見守り協力員として関わっているが、特に独居の方の見守りは地域の協力が欠かせないと感じている。医療と介護のプロの方だけの手で推進できる事業ではないと強く思っている。また、認知症初期の方への対応は他の病気と違って本人と家族がそれを認めなかったり、隠したりといった初期ならではの難しい部分があると日々感じている。認知症の周知啓発に地道に行い、自分たちも支援当事者として家族じゃなくても親類じゃなくても協力をしていく姿勢を持ってほしいし、市はもっと多くの協力員を募ってほしい。

また、医療・介護に関する情報は興味がある方にとっては密に情報を発信していると評価しているが、医療・介護に興味関心のない人にも情報が伝わるような工夫を検討していただきたい

委員

日頃、訪問看護に従事していて市の取り組みを感じたことは、救急医療情報キットが患者さんのお家に設置されていることを目にする機会が増えた。実績報告の中でシート情報の更新が課題として挙げられていたが、日々の業務で更新されているかどうか確認が行えていない部分ではある。情報が更新されていないといざという時に役に立たないため、注意していきたい。

また認知症について、ご家族やご本人から心配する相談を受けることが多い。相談先の情報を提供することもある。今後高齢化も進んでいくのでそういう事例が多くなっていくことを感じている。

多職種連携の研修会には度々参加している。自分自身の勉強の場になっており、継続していくことが大事だと評価している。

委員

あつという間に1期3年が経過した。今後、医療と介護の連携に関してはICTを活用していく時代になっていくと思うが、大事なことなのでじっくりと考えて進んで行けたら良い。事業として実施してきた項目について、多岐にわたっているのは良い事だが事務局の負担は増していると思うので、中途半端にならないよう頑張っていたきたい。

会議への参加を通して、他職種の方の意見が聞け、特に普段接点のない警察や消防の方から、違う切り口で話を聞けて参考になった。また、会議で話し合われたことを市民にいかに還元できるかという点で、市民啓発のための在宅医療フォーラムの開催し、あれだけ多くの市民に集まっていたことは評価できる。

職域代表としてこの会議に参加しているので、ここで話し合われたことを職域の集まりに持ち帰って他の先生方に伝えて、もっと白井市の在宅医療・介護連携の取り組みを広めていきたい。

2期目もさらに発展させていきたいので、協力していきたい。

会長

他に意見はあるか。

|      |                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | (特になし)                                                                                                                                                                                                                          |
| 会長   | 議題3 令和元年度認知症初期集中支援チームの実績報告についてを議題とする。事務局より説明を求める。<br>(事務局より説明 資料2-1、2-2)                                                                                                                                                        |
| 会長   | 報告内容について、質問・意見はあるか。                                                                                                                                                                                                             |
| 会長   | 支援対象者の状況として、独居1人、夫婦のみ世帯は0人、その他7人とあるが、白井市は子供など多くの家族と住んでいる人が多いということか                                                                                                                                                              |
| 事務局  | そうとも限らない。チームが支援するケースとして、家族からの相談が寄せられるケースが多いため、統計の結果につながっている。                                                                                                                                                                    |
| 会長   | 議題4 令和2年度在宅医療・介護連携推進事業および認知症総合支援事業計画についてを議題とする。事務局より説明を求める。<br>(事務局より説明 資料3)                                                                                                                                                    |
| 会長   | 内容について、質問や意見はあるか。<br>指針に追加された感染症や災害時の対応として、具体的な取り組みは予定しているのか。                                                                                                                                                                   |
| 事務局  | 去年の台風被害を受けて、在宅で人工呼吸器を使用している方から停電になった場合の人工呼吸器の電源確保について問い合わせを受けた。その際、市内に住む人工呼吸器を使用する患者の人数すら正しく把握していないことに気づき、保健所に協力を求めて関係各課が集まり、使用者リストの作成に取り組んだ。さらに、災害が起きた時に個々の状況に応じた避難支援計画を立てるため、モデルケースを選定し計画立案予定としている。今後の協議会でその取り組みについて意見等、求めたい。 |
| 会長   | 感染症が猛威を振るう中、ICTを活用し、リモートで意見を交わす情報交換が違った意味で重要性を増しているため、ICTの検討も継続していきたい。<br>議題4について承認することに賛成の方は挙手を願う。<br>(全員賛成)<br>したがって、承認することに決定する。                                                                                             |
| 会長   | 議題5 在宅医療と介護の連携に関するアンケート調査報告についてを議題とする。事務局より説明を求める。<br>(事務局より説明 資料4)                                                                                                                                                             |
| 布施委員 | 内容について、質問や意見はあるか。<br>病院として訪問診療を実施している。内科の常勤医師が担当しているが、これから少し拡大させていきたいと思っている。                                                                                                                                                    |
| 会長   | 他に意見はあるか。<br>(特になし)<br>以上で、本日の会議を終了する。                                                                                                                                                                                          |